

令和元年度定期監査の結果をお知らせします

定期監査は、地方自治法により「毎会計年度の中で少なくとも1回以上期日を定めて行うこと」とされています。妹背牛町における令和元年度の定期監査の概要は次のとおりです。

監査委員 代表監査委員 菅原竹雄 監査委員 石井喜久男

監査期間 令和2年2月3日から7日までの5日間

監査対象 住民課住民グループ 健康福祉課健康グループ、保育グループ
建設課建設グループ（年度毎に監査対象をローテーションしています）

監査の主眼・方法

監査の主眼を大きく分けると①財務に関する事務の執行 ②経営に係る事業の管理です。これらについて、関係法令、条例、規則などにに基づき、公正不偏で計画的かつ効率的に行われているか？適正かつ効率的に行われているか？を主眼に、各担当課所管の資料提出や関係職員からの説明を受け、厳正な監査を行いました。

監査の結果（検討・改善事項）

監査の結果、「**事務・事業の執行はおおむね適正に処理されている**」と認められました。

しかし、一部の事務については、改善の必要性が見受けられ、マイナンバーカード所持によるメリットなどの周知をはじめ、事務事業の検討や改善など数点について指摘しました。

※指摘事項については、それぞれの部署で検討・改善を行い、その結果を次回の決算監査時に報告することになっています。

【お問い合わせ先】

役場議会事務局

☎ 0164 - 32 - 2411 内線 310

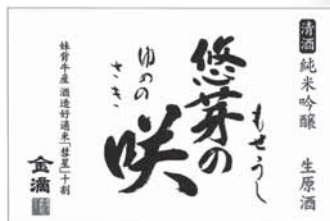
米どころとしての妹背牛町をPRするため、妹背牛町産の酒米を使った日本酒「**もせうし 悠芽の咲**」ができました。

酒米は通常の食用米と比べて粒が大きく、日本酒にする為に削りやすいというのが特徴。北海道では3大酒米として「吟風」、「きたしずく」、「**彗星**」が多く作られています。今回はその中でも特にタンパク質含有量が低い（良質なお米である証）「**彗星**」を使用しています。

お酒の名前は町民の皆さんから募集し、役場や振興公社職員などからなる選考委員会が決定。命名したのは妹背牛町3区在住の関吉麻美さん。この名前には「悠」という字の長く・ゆっくりという意味から、長い目で見て、妹背牛のお酒が花を咲

妹背牛の日本酒が

できました。



ラベルのデザインは町内の松田香洋さんを書いていただきました。

かせてたくさんの人に知ってもらい飲んでいただきたいとつけられたもの。また、「夢の先」という意味も込められています。

この日本酒は町内の五十川商店、堀口商店、浜井商店、妹背牛温泉ペルで販売されているほか、ふるさと妹背牛応援寄附の返礼品にもなっています。

